

2026 年 8 月 17 日

報道関係各位

大和ハウス工業株式会社  
エムシーディースリー株式会社

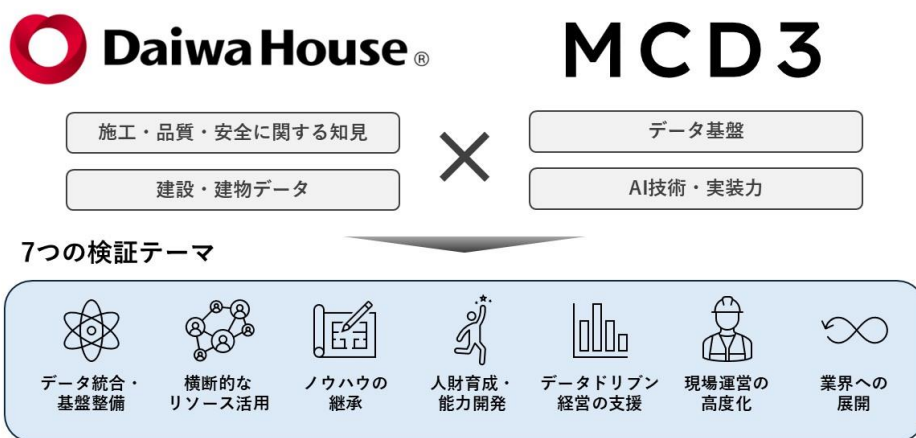
■AI とデータ基盤を活用した技能継承とデータ経営の可能性を検証  
建設業界の課題解決に向けた協業に関する基本合意書を締結

大和ハウス工業株式会社（大阪府大阪市、代表取締役社長：大友浩嗣、以下「大和ハウス工業」）とエムシーディースリー株式会社（東京都渋谷区、代表取締役社長：飯田正生、以下「MCD3」）は、2026 年 7 月 31 日、建設業界における人財不足、熟練者の減少に伴う技能継承などの課題解決に向け、協業に関する基本合意書を締結しました。

今後、両社は、AI およびデータ基盤※1による課題解決の可能性を検証してまいります。

※1. 社内外に散在するデータを収集・統合・蓄積し、分析や活用を可能にする IT システムの総称。

AIとデータ基盤によるノウハウ継承とデータ経営の可能性を検証



建設業界では、少子高齢化を背景に技能者の減少と高齢化が進み、熟練技能者が培ってきたノウハウの継承が大きな課題となっています。また、資材価格の高騰や労働時間規制、猛暑日の増加など、現場を取り巻く環境の変化は激しさを増し、経験はもちろん、データに基づく判断が不可欠となっています。

あわせて、設計・調達・施工・維持管理など各工程で生まれるデータは各社の個別管理にとどまり、十分に活用されておらず、従来の枠を超えた連携が求められています。

そのような中、大和ハウス工業が有する施工に関する知見および建設・建物データと、MCD3 が有するデータ基盤・AI 技術・実装力を掛け合わせることで、技能者・協力会社・元請会社の三者にとって価値ある仕組みを共創できるよう、基本合意書を締結することとなりました。

両社は、熟練技能者の作業・動作データの取得、現場技能者・施工会社の技術力の可視化、これらのデータの活用により、重複作業の削減や適正工期の実現、品質・安全の向上と人財の確保・育成・定着を実現させるとともに、工種や事業領域、元請・協力会社の枠を超え、建設業界に広く活用できるよう検証を行います。

## ■ 7つの検証テーマと、施工店への期待効果

| No. | 検証テーマ           | 施工店への期待効果                                               |
|-----|-----------------|---------------------------------------------------------|
| 1   | データ統合・基盤整備      | 二重入力や紙ベースの作業を削減。<br>見積・施工実績データの蓄積により、自社の強みや競争力の強化につなげる。 |
| 2   | 横断的なリソース活用      | 業務の繁閑差を平準化し、技能者の稼働を安定。新たな分野・領域への参入機会の拡大にもつながる。          |
| 3   | ノウハウの継承         | 新人技能者の早期戦力化を実現。熟練技能者に依存せず作業ノウハウを参照でき、教育に要する時間とコストを削減する。 |
| 4   | 人財育成・能力開発       | 技能者のキャリア形成を支援。データに基づく人財投資および配置判断を可能にする。                 |
| 5   | データドリブン※2 経営の支援 | 工程の遅延や負荷を事前に把握。データに基づく元請会社との交渉を可能にし、赤字案件の削減に寄与できる。      |
| 6   | 現場運営の高度化        | 経験の浅い技能者でも一定水準の判断を可能にし、指導・教育にかかる負担を軽減する。                |
| 7   | 業界への展開          | 労働環境および処遇の改善に寄与し、持続可能な経営基盤の構築につながる。                     |

※2. 収集した様々なデータをもとに判断、行動すること。

## ■ 両社コメント

【大和ハウス工業 執行役員 技術本部技術戦略担当 北 真夫】

日本の建設業界では、技能者の高齢化と担い手不足が進み、現場で培われてきた知恵と技をいかに次世代へ引き継ぐかが、建設業界共通の喫緊の課題となっています。当社は、現場を支える技能者・協力会社を大切にまいりました。一人ひとりの努力や熟練の技が正しく評価され、適正な処遇に還元される循環モデルをつくることが、人財不足と技能継承という課題への本質的な答えだと考えております。この循環モデルを実現するには、現場の知見と先進的な技術の融合が不可欠です。だからこそ、AI とデータ基盤に強みを持つ MCD3 様と一緒できることを大変心強く感じております。本協業を通じて得られる成果を、当社グループにとどめることなく、現場で働くすべての方々、そして建設業界全体の持続的な発展に還元していくことを目指してまいります。

【MCD3 代表取締役社長 飯田 正生】

当社は、「産業に寄り添い社会課題に向き合い続ける」をミッションに掲げ、AI・データ・デザインを掛け合わせたソリューションを様々な産業に提供しております。とりわけ建設業界に対しては、長年にわたり「建設サイト・シリーズ」を通じて、現場業務のデジタル化を支援してまいりました。その中で日々向き合ってきたのが、技能継承とデータ活用という、業界構造に根差した重要な課題です。その解決に向けて、業界をリードする大和ハウス工業様と一緒できることを大変光栄に思います。本協業で得られる知見と成果を起点に、建設業界全体の生産性向上と、現場で働く方々がより活躍できる環境づくりに貢献してまいります。

## ■ 今後の展望

今後、両社は本合意に基づき実証・検証を進めます。得られた知見や成果については段階的に検討・評価を行い、将来的には、建設業界の課題解決に資するソリューションの提供を目指します。

## ■大和ハウス工業株式会社 概要

大和ハウス工業は「建築の工業化」を企業理念として、1955 年に創業しました。以来、一貫して“多くの人の役に立ち、喜んでいただける商品開発やサービスの提供”に努めています。現在は「人・街・暮らしの価値共創グループ」として、戸建住宅や賃貸住宅、分譲マンションのハウジング領域、商業施設、事業施設（物流施設、医療・介護施設等）、データセンター、環境エネルギーのビジネス領域、さらにはホテルやホームセンター、フィットネスクラブなどのライフ領域と、多岐にわたり事業を展開しています。

創業 : 1955 年 4 月 5 日

代表者 : 代表取締役社長 大友 浩嗣

所在地 : 大阪府大阪市北区梅田 3-3-5

事業概要 : 戸建住宅（注文住宅・分譲住宅）、賃貸住宅（アパート・寮・社宅）、分譲マンション等の企画・設計・施工・販売、別荘地の販売、商業施設（店舗・ショッピングセンター）、物流施設（物流センター・配送センター・食品施設）、医療・介護施設、法人施設（事務所・ショールーム）、データセンターの企画・設計・施工・リフォームなど

URL : <https://www.daiwahouse.co.jp/>

## ■エムシーディースリー株式会社 概要

エムシーディースリーは、2025 年 7 月に株式会社インダストリー・ワン、エムシーデジタル株式会社、株式会社MCデータプラスが合併し、発足しました。「産業に寄り添い社会課題に向き合い続ける」をミッションに、3 社が持つ強みであるデザイン・デジタル・データを掛け合わせ、AI・デジタル技術を活用した事業構想からサービス提供まで一貫したオペレーティングモデルを構築することで、顧客価値の最大化を目指します。

設立 : 2015 年 4 月 21 日

代表者 : 代表取締役社長 飯田 正生

事業所 : 本社・デジタルプロダクトカンパニー

東京都渋谷区恵比寿 1-18-14 恵比寿ファーストスクエア 11 階

AIX カンパニー

東京都千代田区有楽町 1-1-2 日比谷三井タワー11 階

事業概要 : AI・デジタル技術を活用したサービス・ソリューションの企画開発・提供等

URL : <https://www.mcd3.co.jp/>

以 上

| お問い合わせ先                        |                                                                        |
|--------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 大和ハウス工業株式会社 広報企画部              | 東京広報グループ 03-5214-2112                                                  |
| エムシーディースリー株式会社 経営企画管理本部 広報・採用部 | <a href="mailto:ml.info-press@mcd3.co.jp">ml.info-press@mcd3.co.jp</a> |